

# 2022 年春学期/アリゾナ州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

| 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。   |
|--|
| プレゼンやディスカッションメインの授業だった。  |
| 同じレベルの人たちでコミュニケーション中心のグループ活動が多かったです。   |
| グループワークが多かった。日本の対面授業と同じような感じ。  |
| リーディング、リスニング、コミュニケーションの科目があり、リーディングではエッセイの書き方を主に学びました。リスニングのクラスでは正しい単語の発音の仕方や、リスニングテストがありました。コミュニケーションではクラスメイトと毎回あるトピックについて議論や、プレゼンテーションなどがありました。その他にも週に一回のカンパセーションの授業では現地の学生とグループになって積極的に会話をしました。   |
| 特に日本の授業形態とは変わらない。ペアを組む際は、母国語が同じ人以外を選ぶように指示された。   |
| グループワークが多かった   |
| 英語のレベル別にクラス分けされる。授業科目は Reading&Writing, Listening&Speaking, Communication, Business など。一コマ 75 分から 105 分の授業で途中で短いブレイクを挟む。ペアワークやグループワークも多い。1 セメスターに何回かテストやプレゼンがある。   |
| 授業形態は全て対面授業でした。教科書を使って本文の解説、パソコンを使って課題の提出やテストなどをしました。20人ほど座ることのできる教室で1人の先生、授業によってはサポートとして先生が2人いる場合があります。各授業ほぼ毎回課題が出るため、その課題の復習や単語テストから授業が始まるが多かったです。先生が説明をしている途中であっても手をあげることなく生徒が質問できる環境がありました。そのため進行が少し遅れることもありましたが、先生たちは生徒が理解するまで丁寧に対応してくれました。 |
| 知識のみ教えるという時間は少なく、問題をクラスメイトやグループで考えて、答えるという形式だった。先生が質問し、生徒が答えて授業が成り立っていた。   |
| 授業によって違い、基本的にみんなでコミュニケーションを取りながら進めていく形態でした。  |
| 15 人ほどの少数人数で、ペアワークやグループワークが多かった。   |
| 対面授業です。6 つのレベル(各レベル 3 クラスずつ)に分かれていました。   |
| 授業形態は6レベルあり留学前のテストにより自分のレベルが分かれます。科目は3科目あり、各教授で授業形態はさまざまですが会話を重視してコミュニケーションを多くとる教授もいれば、文法に力を入れ教科書に忠実に進むような方もいます。3科目あるので各教授の進め方が違い戸惑うことも最初はありましたが、ユニットが進むうちに慣れていきます。  |
| 外大のネイティブの授業と変わりません   |

| クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。  |
|--|
| どの授業も 20 人程度、国籍比率;日本人 5 割、アラビック3割、韓国人 1 割、その他(トルコ人、メキシコ人) 1 割  |
| クラスによりますが私のクラスは日本人が多かったです。   |
| クラスは、20 人ほどいた。日本人は二人しかいなかった。アラビックの人達が多かった。   |
| クラス人数は約 20 人程で、留学前は日本人が多いのではないかと心配していましたが、クラスに3人が5人ほどで、アラブ諸国のクラスメイトが一番多く、その次に日本人留学生が多かったです。その他に私のクラスではメキシコ人や韓国人のクラスメイトがいました。 |
| クラスの人数は、20 人程度。日本人留学生と外国人留学生の比率は4:6くらい。サウジアラビア、アフガニスタン、クウェート、トルコ、韓国、中国、台湾。   |

|   |
|---|
| 10～15 人 中国、韓国、サウジアラビア、メキシコ  |
| 一クラス 15 人から 20 人くらい。日本人の比率が一番多く 4 割くらい。留学生の出身国は日本、中国、台湾、韓国、サウジアラビア、クウェート、アフガニスタン、トルコ、コンゴ、メキシコ、パナマ、ブラジルなど。   |
| 私は三つの授業を履修していましたが、各授業 15-20 人ほどでした。R&W のクラスは日本人 2、3 人、S&L と Communication は 5、6 人でした。春学期のクラス編成は日本、イラン、サウジアラビア、クウェート、カタール、中国、メキシコ、アフリカでした。夏学期は日本、サウジアラビア、クウェート、カタール、タイ、韓国、ブラジル、パナマ、メキシコ、コンゴでした。先生はドイツ、韓国、アメリカ、マレーシア、日本と様々でした。日本出身の先生がいてとても驚きました。 |
| 15～20 人のクラス(日本人 5～7 人、アフガニスタン、クウェートやサウジアラビア 7～8 人、韓国、台湾や中国 1～2 人、メキシコ 1 人)年齢層は 18～40 歳くらいまで   |
| 日本人とアラビックがほとんど占めていて少しだけラテンアメリカ人がいる感じでした   |
| 15 人ほど。東京の大学からプログラムで来ている学生もいて、日本人は多かった印象。ほかには、アジア・中東・メキシコなど。  |
| 1 クラス 20 人前後です。日本人 3～4 割、中東(サウジアラビア、アフガニスタン、クウェート等)4 割、残りは韓国、中国、台湾、メキシコ等でした。  |
| クラス人数なおよそ 16 人です。日本人と留学生の比率は 5:5 で、クラスの中でディスカッションを行う際にグループで日本出身の人と被ることが多くあります。日本人同士でも英語を話すように心掛けが必要であると思います。留学生の出身国はドイツ・中国・韓国・アフガニスタン・メキシコ・パナマ・ペルー・コンゴなどと世界各国からたくさんの留学生が来ているので異文化交流ができます。   |
| 20 くらい レベル上だと日本人少ない アフガニスタン 8 韓国 1 中国 1 中東系 4 メキシコ 1 など   |

| クラスの雰囲気はどんなものでしたか。   |
|--|
| 他国からの留学生は積極的に発言する人が多く、日本人はとても消極的で静かに見えた。   |
| クラスの雰囲気もクラスによって違いましたが私のクラスは積極的な人が多かったです。   |
| 多くの人が自ら手を上げ発表していた。   |
| 授業が始まった当初はアラブ諸国のクラスメイトが集まっていることがありましたが、話しかけたり、かけられたりする中で仲良くなることが出来ました。授業で分からないことがあればクラスの友達に聞いたり、聞かれたりして授業も良く理解することが出来たと思います。   |
| とにかく明るく、手は挙げない。  |
| 発言が多く、気軽に発言できる雰囲気。間違えてもいいから発言しようとする人が多い。   |
| 日本の授業と違い、先生に何か聞かれたら無言になることはほとんどない。誰かしら、または何人も発言をする。  |
| クラスの雰囲気はとてもよかったです。最初は同じ出身国同士、男女でかたまるが多かったのですが、最終的には誰とでも英語でコミュニケーションがとれる環境にありました。日本の授業と一番違うと感じた点は積極性です。先生が生徒に対して回答を聞く前から発言していることが多かったです。間違えることなど恐れず、誰よりも早く、という気持ちが表れていました。特にサウジアラビアやクウェート出身の生徒がすごかったです。             |
| とにかく発言が多い(特に中東出身の生徒)わからないことがあったら聞ける環境、雰囲気を先生が作り出していて、生徒も少しでもわからないことがあればすぐに質問している。先生は生徒たちがわかる目で説明してくれるそのおかげで授業に関してわからないことはほぼなかった。   |
| みんなが積極的でしたそして日本の授業をよりカジュアルでリラックスして授業を受けられました。  |
| 授業前、授業中、授業後みんなでたわいのない話をしたり、課題の相談をしたり、クラスメイト皆仲が良かった。わからないところや、自分の意見をしっかり伝えていた。  |
| みんな積極的です。たくさん発言します。質問も多いです。  |
| クラスの雰囲気に関しては授業前に生徒同士で日常会話をすることが多かったと思います。授業内でも疑問に思ったことは率先して教授に質問していました。教授もわからないことはないかなど随時間いてくれるのでその時に質問をしたりと積極的に質問ができる環境でありました。日本の授業は一方的に授業を聞くのが主流ですが、アメリカの授業ではディスカッションやグループワークが多く自分の意見を発言することが多いのでそれが日本の授業と違う点です。 |

楽しいです。だいたいみんな英語喋れます

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

blue zone, nutrition, emoji, environment, stress, overcoming limitations, future education, business, technology

地球環境問題です。

日本の東日本大震災が授業で取り上げられていた

私が一番授業印象に残っているトピックはコミュニケーションの授業でのペットにするなら犬か猫かのディベートのトピックです。理由は最初私はこのトピックは簡単すぎると思っていたのですが、このディベートはクラスを二つにチームに分け、猫の良い点、犬の良い点を言うのですがランダムで振り分けられるので自分の本当の意見と逆のチームになってもそのチームで考えて発言しないといけなというものでした。私はこの授業で自分も発言をしたのですが瞬時に意見が出てこず、それを英語にして発言することもとても難しいと感じとても印象に残っています。

どうやってストレスに打ち勝ったか。

環境問題について。写真を見て自分の意見をその場で述べないといけなかった。元々の知識があまりないので大変だった。

Emoji, Emoticon について、各国のスラング

ベジタリアンのトピックが一番印象的です。ベジタリアンの中でも完全菜食主義者や果実常食者など細かく分類がありました。アメリカで私が訪れたレストランにはベジタリアンの人のためのメニューがありました。日本にもベジタリアンのレストランはありますが、アメリカほど多くはありません。そしてベジタリアンからつながり、ダイエットのトピックもありました。日本人の女性は見た目には執着がある傾向がありますが、各国様々な考え方があることを学ぶことができました。留学期間に断食があったので、文化の違いを感じました。

リサイクル問題、人生における幸せ、人生で克服したことなどについてスピーチをした。

ビジネス

ビジネスの視点から見た国別の性格タイプを紹介している資料。

児童労働についてエッセイを書きました。日本にいたときには考えたことのないトピックだったので世界の現状を知れてよかったです。

地球温暖化により地球にどんな悪影響があるかを考える授業が印象に残りました。自分自身の意見もありましたが、クラスには他国からきた生徒もいてその生徒たちの意見を聞くと自分との意見とは少し異なる観点で意見を述べていたので面白かったです。また、私は環境の話題が好きなので印象深かったです。

Murphy's law とビジネスのクラスの自分で企業を作ってロゴや CM、プレゼンまでする授業

### 授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

プレゼンの準備を完璧にした。

分からないことをメモして帰ってから調べるようにしていました。

間違いを恐れずに発表することを心掛けていた。

私より流暢に英語を話す人がクラスに多かったので、授業前に積極的に会話をしたり、授業中のグループワークの時は負けないように意見を言ったりと、会話重視にして授業を受けるようにしていました。

私より流暢に英語を話す人がクラスに多かったので、授業前に積極的に会話をしたり、授業中のグループワークの時は負けないように意見を言ったりと、会話重視にして授業を受けるようにしていました。

課題の中で分からないトピックがあるとそれを調べてから出ないと課題の内容が理解できないので調べるようにしていた。

積極的に発言する。授業時間外でもクラスメイトと沢山話す。

工夫していたことは座る位置です。授業時間より少し早く教室に行き一番前に座るようにしていました。そうすることで先生と話しやすくなったり、教室が見渡せることでクラスメイトの意見がききやすかったです。努力していたことは話し合いに積極的に参加することです。授業内で先生から

意見を求められることが多くありました。私は日本以外の国の人たちはいろんな分野に関する知識が豊富であると感じました。例えば環境や化石燃料などがありました。そのため予習の段階で日本について下調べをしたりしていました。

グループやクラスを中心に成れるように積極的に発言する。

積極的に発言してクラメイトとコミュニケーションを取ること

ペアワークやグループワークは日本人ではない子とするようにした。また、分からないことや課題の相談について積極的に先生に聞くようにした。

疑問に思ったらすぐに先生に聞くこと、ペアワークをするときは日本人以外とペアを組むこと、NO ということをつめらわれないこと、わからないことがあればネットを使うのではなく人に聞くこと(記憶に残りやすいため)

前向きに取り組むこと。授業を受ける中でわからないことやありましたがそこで落ち込んだり消極的になってしまつては時間が勿体無いと感じました。それからは、間違えてもいいので前向きな気持ちで励むことが大切だと思い、積極的に授業に取り組みました。また、語学の壁に当たり自信がない時もありましたが、そこで無理をしすぎないことも大切だと思いました。授業を受け、課題を早く終わらせて自分自身と向き合うことも必要だと思いました。クラスメイトとしゃべりまくる

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

| ホームステイメイトはいましたか。 | ホームステイメイトはどこの人でしたか。 |
|------------------|---------------------|
| 0人(4人)           |                     |
| 1人(9人)           | 日本                  |
| 2人(1人)           | 日本、韓国               |

| 通学手段    | 通学時間        | 主に食事はどこでとっていましたか。 |
|---------|-------------|-------------------|
| 徒歩(0人)  | 15分~30分(2人) | 大学内のカフェテリア(1人)    |
| 自転車(0人) | 30~45分(5人)  |                   |
| バス(12人) | 45~60分(5人)  | ホームステイ先(13人)      |
| 電車(2人)  | 60~75分(2人)  |                   |

| 部屋に用意してあったものは何ですか。  | 自分で用意したものは何ですか。  |
|---|--|
| ベッド、クローゼット、机  | ドライヤー  |
| ベッドや勉強机、タンスなど基本的なものは全て揃えて下さっていました。                                    | 日用品全般です  |
| ベット、枕、クローゼット、机、いす、タオル、洗面用具  | 爪切り、綿棒、ドライヤー、時計  |
| 日用品のシャンプーやコンディショナー、ボディーソープ、歯ブラシや歯磨き粉、その他にもコップやタオル、保湿クリームなどを用意してくれました。 | 洋服(冬服・夏服)・下着・靴下・タオル2種類で6枚ほど・生理用品・歯磨き用品・メイク道具・化粧水など・日焼け止め・辞書・参考書・ノート・筆記用具・お土産 |
| ハンガー、タオル、布団、勉強机、ライト、歯磨き粉、シャンプー、リンス                                    | 洋服、化粧品、衛生用品  |
| ドライヤー、ハンガー、鏡  | ヘアアイロン   |
| ベッド、机、洋服タンス、クローゼット、ハンガー、ドライヤー、シャンプー、ボディーソープ                           | 服、タオル、洗顔、メイク用品   |

|  |   |
|--|---|
| ベット、布団、枕、勉強、椅子、ライト、ハンガー、延長コード、洗濯物を入れるボックス、タンス、ティッシュ、バスタオル、時計、カレンダー。家にはドライヤ、シャンプー系、水。 | スリッパ、歯磨き粉、歯ブラシ、洗濯ネット、ウタマロ石けん、ヘアアイロン、カミソリ、消臭スプレー、パソコン、モバイルバッテリー、ほこりをとるコロコロ、体温計、爪切り、折りたたみ傘、消毒液、除菌シート、絆創膏、マスク、日焼け止め、サングラス。 |
| ベッド、デスク、冷蔵庫、たんす  | ドライヤー   |
| ベット、勉強机、タオル  | ドライヤー、服   |
| 机・ベット・布団・棚・クローゼット・電気・扇風機・ドライヤー・洗剤・タオル  | シャンプー・リンス・歯磨きセット・コンタクト液・芳香剤など   |
| タオル、ハンガー   | スリッパ  |
| ベット・クローゼット・引き出し2つ・ライト・机・扇風機・ぬいぐるみ  | 洗顔類(化粧水や乳液)   |
| ベッド、机、クローゼット   | いろいろです。持っていきたいものを持っていきました   |

### ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

|  |
|--|
| ホストファミリーが時間にルーズだった。洗濯が一週間に一回程度だった。晩御飯の時間が遅かった。   |
| 玄関がなく、家中靴で動くということです。   |
| 机がなかったので、ソファでごはんを食べていた。  |
| 私が留学前に持っていたアメリカでの生活のイメージや、調べて分かったことが本当にそのまま戸惑いなどは特になく、イメージ通りで反対にワクワクする方が多かったです。  |
| 晩ごはんを食べる時間が早い。消灯時間が早い。   |
| アメリカ人はお風呂に毎日入らない。私たちは毎日入っていた。  |
| エアコンが家全体で一括なので自分の部屋だけでコントロールできない。  |
| 留学前から知っていたことがほとんどでしたが、お風呂がシャワーだけであること、家の中が土足であること、洗濯機は毎日ではなく週に1、2回だけ回すことが驚きました。友達の家の庭には足が下に届かないほどの深くて大きいプールがありました。戸惑ったことは洗濯機を使っていい時間が決まっていたことです。これは各ホストによると思いますが、私の家は15-18時は使うことができませんでした。 |
| 土足、照明が暗い、晩御飯の時間が早い(5時~7時)  |
| 生活のリズムの早さ  |
| レフトオーバーと言って、夜ご飯の残りを冷蔵庫に保存しておいて別日に食べること。  |
| 水回り(お風呂、トイレ、洗濯)が不便です。でも慣れます。   |
| ホームステイで生活する上で日本と異なったことはお風呂を入らずに寝る習慣があることです。基本的にホストファミリーは朝風呂に入っていました。お風呂に入る時間帯は制限されずに自分が入りたい時間に入ることができました。また、食器洗いを溜まるまでしないが多かったので日本の生活とは異なる点でした。ですが、それほど困ったこともなく開放的な気持ちで生活できました。            |
| 基本ウォシュレット無いです  |

### ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

|  |
|--|
| 自分の部屋にこもるのではなく、ファミリーとの時間を大切にします。   |
| スリッパやサンダルがあると良いと思いました。   |
| 一人の時間を確保するのも必要だと思った。   |
| 私はホストファミリーと過ごす時間が一番大切だと思います。私は家事(食器洗いや料理、パーティーの準備)を積極的に手伝ったり、家族で団欒する時間を大切にしていました。積極的に会話をすることはもちろん、毎週のソフトボールゲームを時間が許す限り一緒に見に行ったり、毎週末に何をするのか家族にあらかじめ聞き、家族でどこかにいくなら予定を開けておいたりするなど、現地の友達との時間も大切ですが、私は家族と過ごす時間もよく |

|   |
|---|
| <p>とっていました。それに加え自分がどこかに遊びに行くときは必ず早めに連絡を入れておくようにしていました。自分から話しかけること、家族との時間を作ることが良い関係を築けると私は思います。</p>  |
| <p>とりあえず、悩んでいる事、困っている事、考えていることを共有する。リビングでの定位置を見つける。</p>   |
| <p>ホストファミリーと出来るだけ交流をすること。部屋に閉じこもらないこと。嫌なことがあったらすぐに言うこと。</p>   |
| <p>ホストファミリーとたくさんコミュニケーションを取り仲良くなる。</p>  |
| <p>ホストファミリーの家のルールにしっかり従うことです。数ヶ月間お世話になるためにも信頼関係を築くことが大切であると思います。そのために決められたルールを守り、ホストファミリーが良い気持ちになれるよう手伝いを積極的にしていました。また私のホストマザーはお散歩やハイキングが好きだったため、早朝から一緒に行くことが多かったです。それらを通して互いに新しい発見があったり、コミュニケーションをとる場面が増え、とても快適に過ごすことができました。</p> |
| <p>自分の生活スタイルや好きなもの嫌いなものやりたいことやりたくないことを正直の伝える</p>  |
| <p>積極的に自分の意見を言う</p>   |
| <p>ホストファミリーとのコミュニケーション</p>  |
| <p>わからないことはすぐに聞いてください。コミュニケーション不足が問題発生が一番の原因です。</p>   |
| <p>ホストファミリーに感謝を伝えること。ホームステイ先に生活費を払ってはいますが、だからと言ってホテルのように好き勝手するのは違うと思います。他人の家に住まわせてもらえることや食事を作ってくれるという当たり前のことに感謝し伝えることがホストファミリーと良好な関係を継続させるために必要なことだと思います。また、ホストファミリーのしてほしいことをすることも大切だと思います。家事など自分ができることをしました。</p>                 |
| <p>ホームステイなら、ホストファミリーとのコミュニケーションを忘れずに</p>  |

| パソコンは持参しましたか | 携帯電話                  | インターネットは部屋から接続可能でしたか。 | その際に費用はかかりましたか。 |
|--------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| はい (13 人)    | 日本の携帯をそのまま持参(2 人)     | ワイヤレスで可能 (10 人)       | はい(1 人)         |
| いいえ (0 人)    | 日本から SIM カードを持参(12 人) | LAN ケーブルで可能(2 人)      |                 |
|              |                       | 不明 (1 人)              | いいえ(12 人)       |

| 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。   | 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など                           |
|--|---|
| <p>毎日のように留学生のためのアクティビティが用意されていて、それらに参加することが多かった。</p>                         | <p>メキシカンレストランによく行った。</p>                        |
| <p>基本的に放課後はイベントやない時は課題に取り組んでいました。</p>  | <p>学校の中のカフェテリアをよく利用しました。</p>                    |
| <p>大学のイベントが、ほとんど毎日あったので、それに参加していた。そこで友達をたくさん作ることができた</p>                     | <p>学校の近くに飲食店がたくさんあったのでよく友達といていた。</p>            |
| <p>私は比較的大学のイベントに参加することが多かったです。現地はイベントが毎週あり、参加することで現地の沢山の学生と知り合うことが出来ました。</p> | <p>学内では現地の友達と近くのモールに遊びに行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。</p> |
| <p>日本語の授業アシストボランティア。中国語サークル。中国文化サークル。バドミントンサークル。ボランティア活動。</p>                | <p>キャンパス内にある友人の寮、現地学生の友人宅、食堂、図書館、体育館。</p>       |
| <p>ホストファミリーに誘ってもらった行事、学校で開かれるイベントなど。</p>                                     | <p>図書館がずっと開いていて快適なのでそこで課題をしていた。</p>             |
| <p>大学のアクティビティ (フリーランチ、イベントなど)</p>  | <p>大学のジム、図書館、食堂、大学周辺のレストラン</p>                  |
| <p>大学主催のプログラムがとても豊富でした。曜日によりイベントが異</p>                                       | <p>学内ではスターバックスをよく利用しました。理由は無料で水がもら</p>          |



|  |  |
|--|--|
| なり、大学側のボランティアやインターンの人たちと交流できる場がありました。イベントはカラオケや各国の文化交流、コミュニケーションカフェ、ピザやベーグルなどフリーフードがある日がありました。週末にはセドナやグランドキャニオン、野球観戦、バスケット観戦もありました。また私は大学内のサッカー大会やスペインのダンスレッスンにも参加しました。                  | えるからです。毎日水筒を持参していたのですが、気温があまりにも暑いのでなくなりました。ペットボトルの水を買うにも高く、スタバックスにたくさんお世話になりました。最初はカップにもらってたのですが水筒に入れてもらうこともできたためとても便利でした。           |
| ボランティアに参加（日本語サークル、中国語サークル）毎週大学で何かしらのイベントがあるので、友達を誘って参加   | 図書館、食堂   |
| 現地や日本人の友達と遊ぶ アクティビティに参加する ジムに通う  | ジム 図書館 カフェテリア  |
| アクティビティに参加する、ホストファミリーと一緒に過ごす、友達と出かける   | 食堂   |
| 大学主催のイベント（主にアジアカルチャー系）、日本語ボランティア（日本語を学習する現地生のサポート）   | 大学の図書館、スターバックス   |
| 自由な時間には大学のアクティビティに参加したり自習勉強していました。アクティビティでは海外の方との交流が増えるので英語を活用できるいい機会だと思います。海外のゲームをしたり、会話を楽しんだりという交流からセドナやGNBAを見に行ったりと様々なアクティビティがありました。その他には、ジムに行って運動をしたり図書館でTOEICの勉強をしたり自分に時間を費やしていました。 | 利用した施設はレストランがある施設とジム、図書館です。お昼時間にはたくさんのレストランがある施設に入り、友達と昼食を食べていました。ジムは会員に入っていたので運動不足にならないように通っていました。TOEICの勉強や課題を終わらせるときに図書館を利用していました。 |
| 大学のイベントがほぼ毎日あったのですごく楽しかったです。pizza party/karaoke/sports 旅行もいきます   | MU   |

### 3. 留学前準備について

| 留学前に取り組んだ準備  |
|--|
| 先輩方の留学体験記にあった、「授業の中で取り上げられたトピック」について事前に調べていった。   |
| リスニングと単語   |
| 私は、アニメをあまり見ないので、留学前に、日本のアニメをたくさん見ていた。また、単語を覚えていた   |
| 現地の気温や天候、アメリカでの生活の文化について知ること、ホストファミリーとのコミュニケーション   |
| 単語を見返す。洋画を見る。Disneyの映画を英字幕で見る。好きなものはとことん好きに説明出来るようにする事。知っている知識を増やす。  |
| 滞在中にやりたいことリスト、帰国後に向けてのやらなければいけないことリスト(就活など)を作った  |
| リスニング力に課題があったのでYouTubeでTOEFLのリスニング問題練習。  |
| 2つあります。1つ目は現地のお金をおぼえることです。実際現地はキャッシュレスのためほとんどカード払いでしたが、キャッシュを使うときはとても混乱しました。2つ目は会話でよくつかうフレーズを勉強していったことです。しかし私が知っているフレーズと現地の人たちがよく使うフレーズは異なっていました。そのため得られるものがとても多かったです。 |
| TOEIC、オンライン英会話   |
| パッキング 英会話  |
| 手続きを間違えないようにやる。文化の違いについて調べる。   |
| 英会話  |

基礎の英単語を学習しました。基礎である英単語や文法を身につけることである程度の会話はホストファミリーと出来たと思います。

ブレイスメントテストのための TOEIC 対策 (効果抜群)

#### 留学前におけばよかったと思う準備

リスニング

コミュニケーション表現

日常で使う単語を覚えていくべき

日本の祝日について知る (お正月など大きな祝日以外に何があるのか聞かれることが多かった。)

もっとスポーツの知識をつけておくべきだった。大学のインスタをフォローしておくともっと早くに情報を集めることができたと思う。留学先で先に友達を作ることも出来たのではないかと思った。

お金を貯める

現地でも日本のアニメが好きなのが良かったので、自分ももう少し知っておけばよかったと思った。

洋画やディズニー映画、音楽に日頃から興味を持てば良かったと思いました。ハイスクールミュージカルやパイレーツオブカリビアン、アナと雪の女王でさえみたことがありませんでした。しかし現地でカラオケをするとき、英語で歌っている子たちが多数いました。全然ついていくことができませんでした。帰国後映画や音楽をみたりきいたりすることはとても楽しいです。そして英語力の向上にもなるので一つの趣味にできれば、と思います。

日本、特に自分の住んでいる場所のことを説明できるようにする

文法や単語の基礎の習得 筋トレや趣味を持つこと

日常会話でよく使う言葉を知っておくこと

日本についての勉強 (アニメ、宗教観、歴史)

アメリカについての知識を持って留学するとたくさんの発見や挑戦が出来たかなと思います。準備をしていなくても新しい発見や経験を積むことはできましたが留学先の国を知っていることでホストファミリーとの会話を増えると思いました。

会話の練習

#### 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

薬、体温計、日本食

味噌汁、ふりかけ、佐藤のごはん。

お箸、扇子

ホストファミリーへのプレゼント、風邪薬、日焼け止め、フォーマルな服

ホストシスターは、キラキラのシールがとても喜んでた。私の好きなディズニーのキャラクターの歌を歌うための歌詞は、一緒に歌ったりと盛り上がった。

フリクションペンは喜ばれた。

長袖の服

抹茶のキットカット、ウタマロ石けん、スリッパ、パソコン、ポケットティッシュ、洗濯ネット。

お茶、煎餅

ドライヤー 服

日本のお菓子・爪切り

自室用のスリッパ、速乾性タオル キットカットの抹茶が人気でした。カレールーを持参してホストにふるまうと好評でした。お好み焼きも人気でした。



お土産として日本のお菓子と箸を持っていきました。私のホストファミリーは箸を好んで使うタイプではありませんでしたし割り箸が中華料理店やアジアのスーパーにあるので買わなくても良いかなと思いました。私のホストファミリーも周りの子も日本のお菓子は好まれました。たくさんの軽いお菓子を持っていくことで色んな話も出来るのでよかったです。

特になし

#### 日本から持っていく必要のなかったもの

ドライヤー、洗濯ネット、洗剤

必要以上の筆記用具とノート

マスク

タオル、歯ブラシ、歯磨き粉、(現地で揃えることができるから)

バスタオル

シャンプー、予備の化粧品など

クロックス、大量のマスク、ノート。

レインコート

傘

冬服

ハンガー、タオル

電子辞書。会話中で伝えられない言葉はほかの単語に言い換えて会話をしたりホストファミリーに教えてもらったりしたので留学中には使いませんでした。携帯のアプリなどで単語を調べたりできるので必要ではなかったと思います。

お菓子

#### 日本から持参すればよかったと思ったもの

一週間分以上の衣服や下着

日焼け止め

爪切り、綿棒、スケボー、

お箸、体温計、解熱剤

日焼け止め、サングラス、帽子、化粧水。お土産用ではなく自分で食べるような日本食。日本のお土産。

薬

日本土産をもっとたくさん持っていた方がホストファミリーと一緒に楽しめたかも

ヘアゴム。海外のものはすぐに切れました。

ホームステイ先の子供と遊ぶための、日本のおもちゃ

水筒

水筒・弁当箱

輪ゴム、つまようじ

日本料理。インスタントのラーメンや味噌汁などが留学中に食べたくなるが多かったので持参すればよかったなと思いました。

良いサングラス

#### 4. 留学費用について

| お金をどのように準備しましたか。   | 日本円でいくらぐらい準備しましたか。  |
|--|---|
| クレジット、現金   | クレジット上限30万、現金10万  |
| 現金少しとほとんどクレジットカードで支払いをしました。  | 現金5万、クレジット80万   |
| 主にクレジットカードしか使っていなかった   | クレジットには100万ほど持って行った   |
| クレジットカード、現金(友達と割り勘するときやホストファミリーとなど必要な時が多かった)   | 現金5万円   |
| クレジットカード、現金。   | 現金はほとんど使用しなかったが、友人と割り勘するときを使用した。  |
| クレジットカード3枚、現金は割り勘の時などに使うので少しいいと思う。   | クレジットカード 上限10万円×2、<br>100万円×1   |
| デビットカード、クレジットカード、現金  | 現金5万円、クレジット上限20万円、デビットカードは必要な分を親に入れてもらう。  |
| タッチ払い可能なクレジットカード、デビットカード各一枚ずつと現金。  | カードは上限100万円。現金は日本円で10万円分準備しました。京都駅の外貨両替の店舗に行きました。店舗にもその日の上限持ち金があったため、朝早くから行くことをおすすめします。また現地でATMを利用することは可能でした。 |
| 現金、クレジット   | 現金10万、クレジット2枚で60万   |
| ほとんどクレジットバスとチップだけ現金  | 100万  |
| クレジットカード・プリペイドカード・現金   | クレジットカード上限30万・プリペイドカード20万、10万追加・現金10万   |
| ほとんどクレジットカードです。現金は最低限しか換金していません。   | クレジットカード上限30万、現金5万  |
| クレジットカードを用意しました。そこから生活費など支払いが必要な際はカードで支払っていました。現金はドルで30ドルほど持っていきましたがカード払いの方が好まれるので現金よりもカードで支払いした方がいいと思いました。支払い方法によりますがカードも数種類ほど用意することが必要だと思いました。 | クレジットカードは上限40万円。現金は3万円分。  |
| クレカ2枚のみ  | おぼえてません   |

| 現地で支払った住居費と食費を教えてください。  | テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。  |
|---|---|
| 住居費なし、食費は友人と外食に行ったときのみ発生  | テキスト代5万、交通費2万   |
| 60万ほどだと思います。  | テキスト代は4ヶ月で5万ほどで、通学費は2万ほどでした。  |
| 20万   | 10万   |
| 食事は朝と夜はホームステイ先で食べますが、お昼が学校で食べるのでお昼だけでも1000円以上はかかりました。私はホストファミリーが家にあるものは持って行っていいと言ってくれていたのので家にあるものを持っていったり、スーパーで安いドーナツなどを買って持って行って行っていました。 | 交通費はU.passという定期が購入でき、約二ヶ月間で8000円ほど。テキストは全てを新品で買うとなると2万5千円は必要になりました。 |
| 住居費、食費なし。   | テキスト代が2セメスターで約450ドルほどかかった。通学費は、バス代で200ドルほど。                         |

|  |   |
|--|---|
| わからない  | バス代は4か月で150ドルくらい、テキストは2セメスターで500ドルくらい   |
| 基本的に住居費と朝晩の食費はプログラム費用に含まれている。ランチ代は家の食事の残りものを持っていか、学校で買うときは10ドル前後。また、友達と外食する回数が増えると出費も増えた。    | テキストは1セメスター250ドルくらいで合計500ドルくらい。通学はほとんど徒歩か無料バスだったので0円。   |
| 住居費はホースステイ、食費(平日2食、土日3食)で約40万です。実費で出した食費は4ヶ月間で15万円ほどでした。これは平日のランチやアイス代などを含んでいます。             | テキスト代は春学期約150ドル、夏学期19ドルでした。春学期分はキャンパス内の本屋さん、本屋で売り切れていた分はオンラインのAmazonで購入しました。日本と比べてとても高いです。本屋では中古の本も販売されていたため少し安く購入できるものもありました。夏学期は友達にかりました。クラスメートの友達やその友達、ホストファミリーの家に以前の留学生がおいていったものなども少しありました。 |
| 食費 昼ごはん約12ドル/食を週3日 それ以外の日は自分でスーパーに行ってベーグル(6個入り約4ドル)を買って食べていた。                                | 教科書代約400ドルくらい(新品で買った場合)通学バスは無料だったが、公共交通機関(有料バス、路面電車)の定期券が75ドル/2か月   |
| 居住費 不明 食費 20万  | テキスト代 一学期で1万強 交通費 無料  |
| 10万くらい   | 15万くらい  |
| 朝と夜ごはんはホームステイ費用に含まれています。ホストファミリーに旅行に連れて行ってもらった時のairbnbに200ドル、何度かの外食(ホストファミリーと)に100ドルほど使いました。 | テキストは500ドル、通学費は150ドル  |
| 現地では大学のキャンパス料金が5万円ほど。食費は10万円ほどになりました。  | 二回分のコースで各学期2万円以上しました。   |
| 昼ごはん毎回12ドルくらいかかります   | 500-600\$ 結構高い  |

### 旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

|  |
|--|
| カリフォルニアへ四泊五日で旅行、費用は計10万円ほど   |
| 学校のイベントでは学校が全て負担してくれました。   |
| 4日間ロサンゼルスに旅行に行った。約5万円ほどかかった。   |
| 学期間の2週間の休暇には、比較的家から近いカリフォルニアやラスベガス、サンフランシスコに行く予定を立てました。飛行機やホテルの手配は日本でも使える旅行アプリを使用しました。   |
| ユタ州旅行。3日間、\$300、自身で手配。アリゾナ、プレスコット旅行。2日間。\$100、現地の大学院生が手配してくれた  |
| バケーション中に友達とニューヨークとロサンゼルスに行った。その他の休みでホストファミリーとディズニーランドとグランドキャニオンに行った。50万円くらいだと思う。   |
| 週末で近めのところに旅行、セメスター間のブレイクを利用してニューヨークに旅行。航空券、ホテル、お小遣いなど含めて一回7万~15万円くらい。  |
| 春学期と夏学期に二週間の休みや土日を利用してたくさん旅行に行きました。私はラスベガス、サンフランシスコ、ニューヨーク、カリフォルニアのディズニーランド、アンテロープキャニオン、カリフォルニアエンゼルスの野球観戦などとても充実していました。費用は全て自分のバイト代から出していました。飛行機やホテルなど自分たちで予約しました。 |
| 3日間でキャンプやロサンゼルスに旅行に行った。費用は300ドルくらいで車で行った。  |
| アクティビティの場合、無料だった。ホストファミリーの場合、支払ってくれた。友だちの場合、折半した。  |
| LA: 2泊3日で800ドル   |

旅行にはカルフォルニアのディズニーとロサンゼルス、そしてラスベガスにいきました。総合で15万ほど費用が掛かったと思います。一回目はカルフォルニアとロサンゼルスで3泊4日で行きました。飛行機やホテル、チケットは検索しインターネットから予約できました。また、ホストファミリーに情報を聞いたりと安く旅行をできる手段を開きました。

学期間でブレイク（二週間）があるので、そのタイミングでみんな一斉に旅行行きます。だいたい飛行機とか車で移動、ホテルは hotel.com、現地ではウーバーとかバスで移動します。（行く先によって公共交通機関のシステムが違うので事前にチェック要）

#### その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

定期や保険などすべて合わせて35万円程度

人にもよりますが私はかなり使いました。

20万円

衣服や日用品の値段は日本とあまり変わらないと個人的に思いました。

交通費に合計で、500ドルほど。

約100万円

旅行費は合計30万円くらい。その他普段の買い物で洋服などもかなり買った。

個人費用は旅行代に約300ドル、お土産代に約100ドル、日用品に30ドルほどです。

自分用お土産に5万円くらい、水や軽食も自費だったので毎月3,000~4,000円くらい使っていた

5万円

40万円くらい

1500ドル

旅行費は飛行機代とホテル代で約5万円ほどかかりました。それにチケット代やその他の費用がかかりました。

レコードを結構買ってしまいました。総額言えません

## 5. 学習面について

#### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

リスニング力は飛躍的に上がった。

リスニング能力はかなり向上したと思います。

自分の英語力はまだまだだと痛感した

今までは学校で規則的な文法を学んできましたが、現地では留学の長所である生きた英語を学ぶことが出来ました。現地の人はこう言わずああ言うんだと思うことが沢山あり、理解した後はその言葉を口に出すことで英語力を向上させることが出来ました。

コミュニケーション能力は元からある方だと思って自信があったため、この点には遺憾無く自分をアピールする事ができた。語学力は、仲良くなった友達にもっと伝えたい！話したい！の気持ちが大きくなっていく事が、語学として勉強するより楽しく感じた。

ホームステイで毎日英語を使う機会があったので、自分の語学力の伸びを顕著に感じられた。海外の友達を増やすこともできたのでコミュニケーション能力も伸びたと思う。

4技能まんべんなく向上させることができたと思う。

語学力・コミュニケーション能力共に向上したと実感しています。留学前はネイティブの人たちと英語を話す機会など授業以外でほとんどなかったため、最初は自分の実力に涙がこぼれそうになりました。しかし学内のイベントや授業、休日の遊びや旅行を通して様々な場面を経験しました。それらを通して聞き覚えのあるフレーズを真似たり、時には英語がとても達者なルームメイトに助けられました。先日 TOEIC を受験したのですが耳の感覚が以前と比べ違いました。リスニング力の向上を実感できました。

|  |
|--|
| 語学力、コミュニケーション能力共に向上したと思う。しかし、ネイティブのスピードにはまだまだついていけない。  |
| 語学力は来た当初よりかなり上達してコミュニケーション能力は元々ある方だったのであまり変化がわかりません  |
| リスニング力、スピーキング力は確実に上がったと感じる。  |
| 英語力が全体的に上がったと思います。特にスピーキングとリスニングが大きく伸びました。   |
| 以前は海外に行った経験や留学経験もなく今回が初めてのいう形でしたが、自分自身前向きに考え常に挑戦できたと考えています。挑戦する気持ちで過ごしていたのでコミュニケーション能力は向上したと思います。また、ホームステイ先でホストファミリーと話す機会が多くあったので異文化や国際理解ができ語学力も成長したと感じます。 |
| 大いに上がったと思いますが、仕事でつかえるようになるにはあともう半年必要だと思いました。   |

| 留学前の目標とその達成度  |
|---|
| 現地の友人をたくさん作ることを目標にしていたが、そこまで多くは作れなかった。  |
| コミュニケーションを積極的に取ることを目標にしている、それは実行できたと思います。   |
| 日常会話程度は話せるようになった  |
| 私はこの語学留学の一番の目標は海外のリアルな文化や言語を学ぶということでした。4ヶ月という短い期間で語学力を身に付けることはもちろんですが、今まで私が思っていた海外のイメージと実際の海外の違いを見つけ、語学においても沢山現地の人々とコミュニケーションを取ることで自然な英語を知る、身に付けることを意識していました。私はこの目標を達成するために色々な所に行ったり、イベントに参加したり、その場所で沢山の人の人に出会うことができ、後悔のない留学にすることが出来たと思います。 |
| 目標は、英語をもっと好きになることで目標達成率は100%です。自分が吸収できる、成長出来る、と感じる事が出来そうなチャンスには全て挑戦することができたから。  |
| 自分の思ったより語学力が伸びた。将来に対する考え方も変わり、明確ではないがやりたいことがみつけれられたのでよかった。  |
| 日常会話を楽しめるようになる、という目標を達成できた。   |
| 留学前の私の目標は、自分のおしゃべりな性格を現地でも実践することでした。80%ほどは達成できました。特に授業中や休み時間、クラスメートとのコミュニケーションはとても充実したものにできました。現地の人たちと遊び、会話が止まったときに自分から話題提供をすることに少し苦しかったです。日本語のようにべらべらと話せないことが歯がゆく、もどかしさを感じました。   |
| 漠然としていたが目標は、英語を話せるようになること。達成度は80%。コミュニケーションを取れる、自分の言いたいことが言えるようになったが、実際の会話での相槌や質問力などのキャッチボールをすることがかなり難しく感じた。また、話すよりも難しいのは聞くことだと感じた。   |
| 語学力はかなり向上しましたが思っていた以上に向上しませんでした。1番の目標はアメリカで楽しむことでした。かなり楽しめましたが語学力がもっとあればもっと楽しめたと思います。   |
| たくさんの人と交流することを目標にしていたが、達成できた。   |
| 英語が全く話せなかったのが、自分の意見をしっかり相手に伝えられるようになったかっただです。今は英語を話すことに対して恐怖心がないので目標が達成できたと思います。  |
| 留学前は自分自身に挑戦するという目標がありました。留学するにあたりたくさんの壁に当たるかもしれないという不安もありましたが念願の留学ということで前向きに考えることができ、旅行やアメリカの生活で沢山の挑戦をすることができました。この経験から次の目標を立てその目標に向かって精進していこうと思いました。   |
| まずはプレイメントテストで一番上のクラスに入ろうという目標でいったのですが、届かず上から二番目。それでも外大生はおらず、日本人は同志社の子一人だけだったので環境的には最高でした。   |

| 留学を通しての成長ポイント         |
|-----------------------|
| 人前で話すことにそこまで抵抗がなくなった。 |

|  |
|--|
| 積極性と、コミュニケーション能力です。  |
| スピーキング力とリスニング力はとても上がった   |
| 私はこの留学を通して、様々なことに挑戦する力、海外の方とコミュニケーションを取る時の自信が身に付いたと思います。留学前まで私は何か新しいことに挑戦することに少し躊躇することが多かったのですが、現地で私は限られた時間を無駄にしないように文化交流会や、クラブに躊躇せずに参加しました。現地の人も積極的に会話をする上で、多くの人が私が理解できなかった時に沢山助けてくれました。私はこれらの経験から怖がることはなく挑戦することで得ることのできる経験や学びがあると実際に感じ自分を成長させる事が出来ました。 |
| 多角的に考える力です。この力をつけたことによって言葉を選ぶ事よりも、自身の考えを持つことで、伝わりやすく相手の気持ちに立つ事ができると感じる。  |
| 異文化理解力   |
| 間違いを恐れず積極的に英語を使う姿勢が身についた。またアメリカの文化の中で誰とでも気さくにしゃべれるようになった。  |
| 積極的に英語を話す姿勢を身につけることができました。最初は文法と単語を頭に浮かべ、発言をするのにとても時間がかかっていました。しかし自分の間違いの一つ一つに落ち込むのではなく間違いから学んでいこうと姿勢をかえたことで、自信ができました。また他国から留学に来ている子たちが積極的に授業中に発言している姿を見て奮闘しました。また人によって使うフレーズが違うため、各々から学ぶために相手に対してしっかり耳を傾けるようになりました。                                     |
| 言いたいことを英語で直接考えること。難しい話題の時は、日本語でどう言えるかをまず考えて、英語になおすというイメージだが、その際日本語で難しく考えてしまうとわからなくなるので、いかに物事を多方面から考え、言い換えができるがポイントだと思った。   |
| 行動力 時間を大切に使う力 効率 自分の意見を伝えるどんな人であれど   |
| コミュニケーション能力(英語力というよりも英会話力)、異文化理解力、LGBTQ に対する理解   |
| 留学を通し挑戦する姿勢がついたと感じます。挑戦する前は留学に対しての不安を感じることもありましたが挑戦することで自分自身についた力を感じることができたので何事も挑戦してみるという前向きな思考がついたと思います。  |
| 自分を客観視する能力とコミュニケーション能力   |

| 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化   |
|--|
| 留学前はコロナで大学へ行くこともほとんどなく、一人で勉強していてモチベーションが上がらないことが多かったが、留学で様々な国籍の人と、英語力を向上させると同じ目標に向かって勉強することはモチベーションにつながった。   |
| わからないことが多くて悔しい思いもたくさんしましたが、その分結果はついてくると信じ、全力で頑張りました。   |
| 日本に帰国してからも、英語の映像や音楽をよく見るようになった   |
| 留学前に比べ私の語学学習に対するモチベーションはとても高くなりました。理由として私の語学力で海外の人と楽しくコミュニケーションが取れたことがとても嬉しく、自分はやはり語学の勉強をしたいと改めて感じたこと、そしてクラスメイトや他の留学生は自分より英語が話せる人がもちろんいて、その人達を見ていると負けてられない、自分も頑張らないと留学で何度も感じたからです。   |
| 留学に行っ以降、英語をもっと話したいという気持ちが高まった。留学先で出会った日本人の男性から TOEIC の点数の取り方を教えてもらい、語学としてのやる気も上がった。英語を話す一方で、中国語のやる気は、どんどん強くなった。  |
| 課題やテストの結果が数字で現れて、自分がクラスのどの位置にいるのかを確認できた。上の方にいるとモチベーションが上がった。   |
| 留学前は、留学に向けて勉強はしていたがそこまではっきりとしたモチベーションがなかった。留学で自分よりもっと努力していたりレベルの高い友達に会ってもっと自分を向上させたいという気持ちになった。授業にも積極的に参加できた。留学後もそのモチベーションが続いている。  |
| 留学前は行けばなんとかなる。という考えでした。留学中前半はどうにもならないものもある。と消極的になってしまいました。特にルームメイトがとても英語を話せる子だったので家の中でも学校でも少しづらかったです。しかし後半は意欲がとてもありました。なぜなら友達との親しさが増し、もっと話したい。と思ったからです。帰国後もモチベーションはあがったままです。なぜなら聞こえてくる英語が理解できる場面が大幅に増えたからです。時間があれば洋画をみるようになりました。しかし話す場面はほとんどありません。 |



留学前、ある程度の語学力があるとはいえ、不安の方が大きかった。留学中、最初の一月は 120 パーセントの力で生活、行動、勉強していた。だんだんと生活に慣れ、疲れが出てきた頃は、周りのみんなで助け合って頑張った。英語に対する考えは日々変化していて、人に会うたびに刺激を受けた。留学後、英語を話すことに自信がついたが、さらに上達したいと思った。

かなり上がった留学前と比べると留学前 留学後 留学中 この順番です

留学後は現地で出会った友達との交流と英語の勉強をつづけようと考えている。

留学前<留学中<留学後 自分の英語が通じる楽しさや、言いたいことが言えない悔しさなど、全ての経験がモチベーションにつながっています。

留学中は授業やホストファミリーとの会話で英語を話していたのでより通じるように勉強をしていました。留学の後半になると TOEIC の勉強を始め高得点を取れるように勉学に励みました。留学後は次の中国オンライン留学があるのでそれに向けて勉強しています。また、変わらずに TOEIC や TOFEL で高得点を取れるように勉強もしています。

留学前なんてなにもわかりません。留学中は目の前のことをこなすことで精一杯です。留学後は会話力が落ちないように現地の子と電話しまくるしかないです。

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

プレゼンの準備

プレゼンテーションと、新しい友達を作る時です。

みんなの前でプレゼンをする時

私が100%の力を振り切った瞬間は夏学期の課題です。春学期から夏学期に変わりクラスのレベルが一つ上がると私のクラスではエッセイのまとめをかく課題が沢山出ました。課題の量が増えたものの家族で授業終わりにお出かけする時もあるので、その時は課題が終わるまで寝ないと決め取り組んでいた時は100%の力が出ていると思います。

悩み相談をする時、なんとなく気分が落ちているなという時に、とりえず言葉にして自分がどういう感情であるかを理解しようと努めた。母国語でも難しいと感じる感情の言語化する機会を何度も作ろうと思い、現地の大学院生や現地の社会人の友人に話を聞いてもらうときに、伝えようと英語の力を発揮させる事が出来た。

別の大学に留学している友達に会うためにニューヨークからロサンゼルスまで1人で移動したこと。

毎回のテスト、プレゼン

各クラス最終試験です。特に要約を書くことに一番力を振り絞りました。日本で学習をする時英語で要約を書く機会はほとんどありませんでした。しかし授業や課題では2日に1回、2回に1回の確立で要約を書きました。書きすぎて嫌になるほどです。本文から内容を読み書く要約は比較的にできました。しかしリスニングの音源からの要約は難しかったです。一度集中力が切れると内容が一切理解できなかったのです。しかし先生からの教えを信じ、テストでは納得のいく要約を書くことができ、とても満足することができました。

最初の授業やオリエンテーションなどで自分から話しかけにくい瞬間。待っていても誰も話しかけてくれることはないの、自分の性格的に多少の無理をしてでも自分を周りに示していく。

現地でも友達を見つける時。あまり現地の人と関わるアクティビティがなかったのでキャンパスで現地の大学生に話しかけ回った時 100%の力を出しました。

日本語を勉強する現地生へのサポート。日本人が自分一人の中で、どうにか意思疎通ができるように努力しました。

期末テストのスピーキングテストで質疑応答がありました。話題に対して自分で質問を考え、その話題に対し数分間自分の意見を述べ、最後に先生からの質問に対して答えるというテスト形式でした。そこで自分が留学中に身につけた語学力を最大限に発揮できたと思います。最後のテストということでモチベーションを自分自身で高められました。教授とはテスト前にたわいも無い会話をし、テストに挑みました。教授から成長したねと伝えくださったので嬉しかったです。

ビジネスのクラスのファイナルプレゼン ポスターセッション

## 留学先大学の良かった点

留学生向けのアクティビティが充実していたところ。

現地の人も交流ができ、とても充実した生活を送ることができました。

留学先の大学生と仲良くなることができ今でも連絡を取り合っている。

アリゾナ州立大学はとても大きく、自然や都会も近くにあること、その他にも語学留学生だけのイベントや、大学全体でのイベントなど沢山の行事があったこと、留学生サポートが充実していたこと

沢山のアクティビティがあり、留学生プログラム以外にも友人関係の構築や、クラブ活動が活発にできた点は非常に良かった。

ほぼ毎日イベントを開催してくれて、他の人と仲良くなれるチャンスが多かったのが良かった。

留学生のためのアクティビティがたくさんあって楽しめた。先生やクラスメイトがいい人たちばかりで過ごしやすかった。

留学大学の良かった点は、授業間や放課後に大学側が留学生を対象にほぼ毎日イベントを開催してくれたことです。それを通して現地の大学生や他クラスの様々な国の人たちと交流することができました。そして友達とイベント外で遊んだり、卒業パーティーなどに招待してもらうほど仲良くなることができました。休みの日の最初は日本人と遊び、日本語の会話が多かったのですが、友達の偉大さを感じました。授業だけでなく英語を話す機会があるので、モチベーションを高めることができました。

いろんな国からの生徒に出会えたことがよかった。携わった先生方が全員生徒のことを第一に考えていて素晴らしいと思った。

設備がいい ASU の大学生や教授がいい

キャンパスが大きい、施設がきれい、いろいろな国籍の学生がいる

みんないい人でした。気候も人もあったかい